



ふれあい



JAみちのく村山「ふれあい」No.363 2025. 6. 10発行
編集・発行/みちのく村山農業協同組合 山形県村山市稲岡北町一丁目1番1号 TEL:0237-55-6311(代) FAX:0237-55-5825
JAみちのく村山ホームページ http://www.mitnoku.or.jp E-mail: info@mitnoku.or.jp
印刷・製本/街印刷文化堂 再生紙を使用しています。

こちらにも
アクセス!!
ホームページ



家族で楽しむおいしい一皿

元気のもと夏の野菜、丸ごと栄養をいただいて暑い夏を乗り切ろう



蒸しナスとツナのマリネ

栄養の宝庫・ナスを丸ごと楽しむ

材料(2人分)

- ナス..... 3本(約250g)
- ツナ(油漬け)..... 小1缶
- しょうゆ..... 大さじ1
- 梅干し..... 小1個
- オリーブ油..... 大さじ1/2
- シソ..... 5枚

ポイント

ナスは自律神経を整えてくれるといわれ、夏バテ防止にとても良い野菜です。水にさらし過ぎず、くぐらせる程度に。皮に栄養が多いためむき過ぎないようにしましょう。

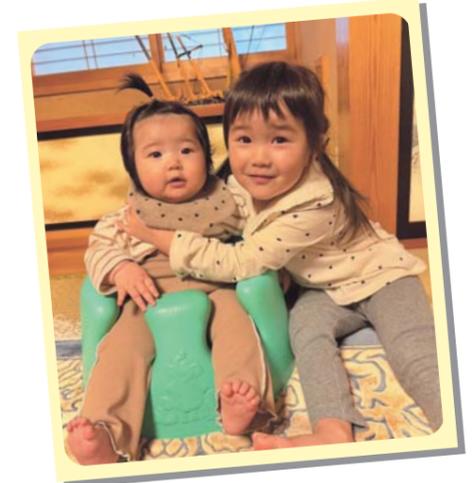
アレンジ

- ショウガを加える
- オリーブ油をごま油など好みのものに変える

作り方

- 1 ナスはへたを落として縦にしま模様になるようピーラーで2、3カ所皮をむき、一口大の乱切りにする。Aの梅干しは種を取って刻んでおく。
- 2 レンジ可のボウルに①のナスを入れ、水にくぐらせて水気を軽く切る。そのままボウルにツナとAを入れてラップをし、レンジ(600W)で2分加熱する。軽く混ぜてさらに2分加熱し、刻んだシソをあえたら出来上がり。塩味は梅干しの塩分濃度によるので味見をして調整する。

おらえのめんごっこ



村山市稲下
寺崎 いちか ちゃん(3歳)
すず ちゃん(7ヵ月)

▽名前の由来は?
「一花ちゃん」は春生まれの女の子なので、「花」を名前につけたかったことと、「どんなことがあっても」「一から一つ」強く、たくましく、努力が出来るようになったことをほしく、すずちゃんには、きれいな心とさわやかな雰囲気、周りの人の気持ちを穏やかにする子に育ってほしいという思いを込めてつけました。

▽好きな食べ物は?
「一花ちゃん」を知っている人は、口をそろえて「サッミー!」と言ったこと間違いなしです。小食ですが、サッミーだけは目がなびます。南陽市の店まで調達に行きます。すずちゃんには離乳食がスタート。今のところすごく意欲的です。

▽好きな遊びや夢中になっていることは?
「一花ちゃん」は、ストライダーが日に日に上達して、坂道も上手に乗りこなしています。すずちゃんには寝返りのコツをつかみコロコロしながら手に触れたものをつかんで楽しんでます。

▽家族での過ごし方や楽しみは?
「暖かく過ごして待つ」に待ったBBQの季節。パパが休みの日は外ですぐに始まります(笑)子供たちも外で遊んだり、日光浴をしたりしながらのBBQは最高です。

▽お子様へのメッセージ
「2人のおかげで喜びも楽しみも悩みもあり、日々成長させてもらってます。ありがとうございます♡」一花もすずも家族の宝物です。♡



元気にがんばってます!

尾花沢市田沢

おおい 大類 さん(75歳)
きよし 清志 さん(75歳)
としこ 敏子 さん(75歳)



今月の表紙

▼農家になったきつかけと経緯などを教えてください
元々は農家で、家業の後継者として中学校卒業後農業を始めました。小規模農家のため、途中からタクシール会社と農業を兼業して、アスパラガス生産を本格的に取り組んだのは、タクシール会社を定年退職する約15年前からです。最初は自分の家で食べるつもりで始めたのですが、JAからの指導やインターネット等で勉強し栽培を始めました。それ以来、アスパラガス主体の農業を続けています。

▼栽培品目、栽培面積、就農して何年目ですか?
栽培品目は、アスパラガス(尾花沢管農センターアスパラガス生産部会員)と稲作をしています。栽培面積は、アスパラガス30㎡、稲作50㎡です。中学校卒業後に就農したので、今年で就農60年目になります。

▼就農初、大変なことや苦労した事は?
農業を始めた頃は、機械作業が耕うん機1つで行っており、その他の作業はほとんど手作業だったため、大変でした。

▼農業の魅力、農業をしていて良かったと思うことは?
農業の魅力は、自分のペースで仕事ができることです。また、収穫したばかりの新鮮な農作物を食べることができ、子供たちや親戚に自分が作った野菜をあげて喜んで食べてくれるのがうれしいです。

▼農業をする上で大切にしている事は?
体に無理をしないで、これからも長く農業を続けられるように、健康に気をつけています。

▼休みの日は何をしていますか?
休みの日は体を休め、テレビ鑑賞をしています。また、孫が家に来たときは、一緒に遊んでいます。

吉村知事が児童と一緒に手植え

県産ブランド米を全国にPR

県産ブランド米の「つや姫」と「雪若丸」をPRしようとして5月27日、村山市立戸沢小学校(高橋文明校長)の実習田で田植えイベントを開きました。田植えや稲刈りの他、収穫した米も販売する予定です。県やJAグループなどで組織する「つや姫」「雪若丸」ブランド戦略推進本部が開いた。

たもので、吉村美栄子知事や当JAの三浦康彦組合長、志布隆夫村山市長、JA山形中央会の安孫子常哉副会長、つや姫レディらが、5年生9人と6年の田んぼに手植えしました。JAみちのく村山山市青年部戸沢支部の盟友ら10人も協力しました。

吉村知事は「秋においしいつや姫と雪若丸、



▲吉村知事と戸沢小の児童たち

はえぬきを全国に届けたい。心を込めて田植えをしましょう」と呼びかけました。児童を代表して大江亜子さんが「おいしくてみんなが幸せになるお米を植えることを誓います」と田植えを宣言しました。

当日は令和9年度「デビュー」の苗も披露。「ゆきまんでん」は同市の小学5年生が



▲吉村知事と満面の笑顔の児童

応募し決まった名称で、そのPRも実施しました。

同校は毎年体験学習の一環として村山市青年部戸沢支部の盟友から植え方を教わり、田植えや稲刈りを行っています。



▲吉村知事と一緒に手植えする児童

CONTENTS もくじ

NO.362
2025.5

- (今月の表紙)元気にがんばっています
／季節の歳時記…………… 2
- 吉村知事が児童と一緒に手植え
／すいか生産部会総会…………… 3
- 特集
JAみちのく村山 自己改革工程表 …… 4
- ニュース展望台 …… 8
- いきいき子供たち
土とふれあい農業体験 …… 11
- みちのくほいす
／クロスワードパズル …… 14
- 共済の相談は私たちが対応いたします!
ライフアドバイザーの紹介 …… 16
- お知らせ掲示板 …… 18
- 家族で楽しむおいしい一皿
／おらえのめんごっこ …… 20

季節の歳時記

和文化講師 滝井ひかる

少暑

■少暑(しょうしょ・2025年は7月7日)

二十四節気の少暑は梅雨の終盤。この少暑から立秋の前日までが「暑中見舞い」を出せる時期です。

この時期の行事といえば、七夕。梅雨の影響で晴れることの少ない七夕ですが、雨が降ってもカササギが羽を広げて連なり天の川に橋を架けてくれるので、織り姫と彦星は会えるという言い伝えがあります。

冬瓜(トウガン)、胡瓜(キュウリ)、苦瓜(ゴーヤー)など、夏野菜のウリ科の植物はビタミンやカリウムが豊富で夏の疲れを癒やしてくれます。ウリを割ったら水があふれ出て天の川になった、という言い伝えもあります。



高品質・長期安定出荷目指す ～すいか生産部会総会～



▲第23回通常総会であいさつする大山部会長

JAみちのく村山すいか生産部会は5月27日、JA本店で第23回通常総会を開き、生産者の代表ら33人が出席しました。

席上、同部会の大山功部会長が「今年も美味しい『尾花沢すいか』栽培に向け、3地区協力して切磋琢磨し、部会を盛り上げていこう」とあいさつしました。総会では、令和6年度事業報告並びに収支決算書など3議案を承認しました。

今年、夏すいか日本一の産地として、品質管理の徹底と栽培技術の向上により生産者の所得向上を図っていきます。関係機関と連携して、地域の担い手となる新規就農者の育成に取り組みとともに、「やまがた農産物安全・安心取組認証制度」を活用し、信頼される産地づくりに努めていくことを確認しました。

5月9日には、尾花沢管農センターすいか生産部会の通常総会が開かれ、生産者ら約90人が出席しました。令和6年度事業経過報告並びに収支決算書の承認など3議案は満場の拍手で承認されました。

自己改革工程表

【自己改革を支える経営基盤の確立・強化】

管内において、人口減少・高齢化が本格化するなかで、後継者不足による農業者の減少がさらに加速化し、不安定な世界情勢により生産コストの高止まりが深刻で、地域農業は厳しい状況が続いております。

当JAの農業生産額は横ばいで販売品販売高は150億円前後で推移している状況ですが、今後の経営状況について過去5年間のトレンド(傾向)を基本として成り行きシミュレーションを行ったところ、令和7年度から事業利益が赤字に転じる内容となりました。赤字の主な要因は、低金利における信用・共済事業の収益減少並びに、購買事業の収益減少と燃料代高騰等による事業管理費の増加となっております。

当JAでは、これらの課題に対応し健全で持続性のある経営を確保するため、第十次経営管理3カ年計画で『未来のために〜Next Chapter〜』をテーマとし“次の章へ”確実に進み、当JAのめざす姿(1. 地域農業を守る 2. 組合員の暮らしを豊かにする 3. 地域の活性化に貢献する 4. 持続可能な経営基盤の確立・強化)を達成するため、活動の3本柱(1. 農業生産基盤の強化 2. JA経営基盤の確立・強化 3. 組合員・地域との結びつき強化)を基本とし、各事業の重点実施項目を集中的に実践するほか、当JAの課題を整理し機構の見直しも含め、役職員で一丸となって取り組んでまいります。

また、全事業を対象とした「みちのく村山プログラム」の開催で事業計画・自己改革の取り組みの進捗状況を確認し確実に実践していき、事業の抜本的な見直し・検討も含め、直接販売事業の強化と生産性の向上、施設の経営効率化に取り組み、さらなる事業の発展をめざしてまいります。



2月27日、28日の2日間、管内3地区で座談会を開催。様々な機会でご頂いたご意見、ご要望は十分な検討を重ね、今後のJA事業運営に反映させていただきます。



おばね産直館「はいっ」とでは、様々なイベント時だけではなく、1年とおして山形牛の販売をおこない、消費拡大に取り組んでいます。



食農教育を目的とし、子供たちに土とのふれあいから自然や農業の大切さ、食と農のかかわりを学んでもらおうと、年間とおしてその支援活動に取り組んでいます。



当JAとJA共済連山形は、令和6年度2市1町に16基のカーブミラーを寄贈しました。昭和48年から累計で1,121基になります。



6月29日に大石田、7月6日に尾花沢でJA夏まつりが開催されました。お楽しみ抽選会や地元園児によるパフォーマンスが行われました。JA女性部の協力で納豆もちも振る舞われました。



1月に管内3地区で令和7年用の肥料・農薬相談会が開かれました。メーカーの担当者も出席し、新商品の紹介や商品の使用時期、効果などを説明しました。

当JAは組合員との徹底した対話に基づいて「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする創造的自己改革の実践に取り組んでおります。

昨年の自己改革の実践につきましては、新規就農者への支援、ネット販売の強化やふるさと納税返礼品の付加価値販売の拡大のほか、令和4年度から導入しているJAやまがたのきゅうり選果場を利用する越境選果で生産者の作業軽減と圃場管理の徹底、規模拡大へつなげることができております。「地域の活性化」の取り組みでは、園児・児童を対象とした農業体験、女性部を中心とした各種教室の開催、JAまつりや産直所を中心としたイベントの開催で組合員や地域の方々から一定の評価と今後の企画等に対し一層の期待する声をいただくことができました。

今後も地域に根ざしたJAであり続けるため持続可能な経営基盤の確立・強化とともに組合員との対話を通じ総合事業を基本として「不断の自己改革」に取り組んでまいります。

【自己改革を実践するための具体的な方針】

1. 当JAは今後も組合員・地域の方々との対話を深め、変化していくニーズを的確に把握してまいります。
2. 農業者の売上の増加・コスト低減につながる担い手目線の取り組みについて、目標および実践具体策の策定等とあわせて実践し、改革の目的である「農業者の所得増大」を実現するほか「地域の活性化」にも取り組んでまいります。

《農業者の所得増大・農業生産の拡大》

- ① 需要に結びついた米の品種誘導・生産振興の推進
- ② 選果施設を拠点にした銘柄産地の確立
- ③ 肥料・農薬の大型規格商品の取り組み
- ④ 山形牛の消費拡大運動とネット販売強化
- ⑤ 農業融資にかかる相談機能の充実・強化

《地域の活性化》

- ① 食農教育を目的とした園児・児童を対象とした農業体験の場づくり
- ② 地域の郷土食・地産地消を目的とした女性部等の料理教室の開催
- ③ 投資信託への取り組みによる組合員・地域の方々の資産対策
- ④ 各種イベント・スマホ教室・セミナー等の開催による組合員・地域の方々への貢献

3. 改革の取り組みと成果について対話等を通じて評価を把握し、次の改革・実行・評価・改善を繰り返すことで目標に近づけ、不断の自己改革を着実に実践してまいります。

【自己改革の実践に向けた組合員の意思反映】

自己改革の実践と成果について、日々の訪問活動や組合員宅定期訪問・地区別座談会・渉外活動・各種イベント等を通じて「正組合員とともに地域農業や地域経済の発展を支える組合員」である准組合員の声も聴くことで正准組合員が一体となったJA運営を実現し、組合員の評価を踏まえながら必要な見直しを行い、「農業者の所得増大」と「地域の活性化」につながるよう取り組んでまいります。

農業融資強化の取り組み

	令和6年度			令和7年度
	目標値	実績値	進捗率	目標値
農業融資新規実行額（単位：百万円）	684	1,319	192.8%	684

（注）目標値および実績値には日本政策金融公庫への取次分を含んでいる。

令和6年度 of 取組状況と要因分析

- 管内の農業情勢は本格的な世代交代期を迎え、これまで以上に担い手に集積が進むなど農業生産構造が大きく変化しており、新規就農者や法人経営の農業者が増加するなど明るい兆しが見られる一方で、人口減少、高齢化、後継者不足のほか、昨今の急激な生産資材の価格高騰・高止まり、激甚化・常態化する気象災害等の外的要因の不安材料もあります。また、農政や経済政策にも大きく影響されるなど、地域農業は厳しい状況に直面しています。
- 融資渉外員によるメイン強化先や営農販売部のターゲットリストを中心に一斉推進を実施し、農家ニーズに合わせた情報提供と資金提案を行いました。
- 令和6年春からの異常気象に対する緊急対策として当JA独自の災害資金対策を実施しました。
- 農業近代化資金の利用者に対し保証料の全額助成を行いました。
- 支払利息の軽減を通じた経営者支援を目的にJAバンク利子補給制度を活用した低利資金の提供を行いました。

令和7年度における具体的取組み

- 融資業務の再構築をはかり、融資渉外員を本店に集約し、制度資金・大口農業資金に対応します。
- 認定農業者・担い手農家・新規就農者への近代化資金の積極的な取り組みにつとめます。
- 引き続き行政との連携により営農類型や経営規模に応じた補助事業を含めての情報提供により資金需要を把握し、有利な農業資金の提案につとめます。
- 他部門との連携強化による情報の共有と同行訪問を実施し、大規模農家、農業法人等のニーズに合わせた情報提供・情報収集による資金提案に取り組みます。
- 融資渉外員のスキルアップに向けた研修会・勉強会を開催します。
- 引き続き農業近代化資金の利用者に対し保証料の全額助成を行います。
- 引き続きJAバンク利子補給制度を活用した低利資金の提供につとめます。

JAみちのく村山自己改革工程表 数値編

重点目標	成果指標・目標値		
------	----------	--	--

農業者の所得増大・農業生産の拡大

		令和6年度		令和7年度
需要に結びついた米の品種誘導・生産振興の推進		目標	実績	目標
対象者：農業者	売上増加の効果			
令和7年度	主食米シェアの拡大	R4年度対比+4,500俵	4年度対比△21,420.5俵(△9.4%)	R4年度対比+6,750俵
選果施設を拠点にした銘柄産地の確立		目標	実績	目標
対象者：農業者	規模維持・拡大			
令和7年度	新規就農者10名以上の獲得	4名以上	6名	2名以上
肥料・農薬の大型規格商品の取り組み		目標	実績	目標
対象者：担い手農家	売上増加の効果			
令和7年度	2,100万円	2,050万円	5,457万円	2,100万円
山形牛普及の消費拡大運動実施とネット販売強化		目標	実績	目標
対象者：必要とするすべての方	売上増加の効果			
令和7年度	1億円	9,000万円	6,400万円	1億円
農業融資にかかる相談機能の充実・強化		目標	実績	目標
対象者：農業者	相談機能の充実			
令和7年度	5億円	5億円	5.2億円	5億円

地域の活性化

		令和6年度		令和7年度
食農教育を目的とした園児・児童を対象とした農業体験の場づくり		目標	実績	目標
令和7年度	実施回数 年/23回	年/23回	年/20回	年/23回
各種教室の開催(地産地消を目的とした料理教室・手芸教室・体操教室等)		目標	実績	目標
令和7年度	実施回数 年/50回	年/50回	年/60回	年/50回
投資信託への取り組みによる組合員・地域の方々の資産対策		目標	実績	目標
令和7年度	1億5,000万円	9,000万円	1億3,605万円	1億5,000万円
各種イベント・スマホ教室・セミナー等の開催による組合員・地域の方々への貢献		目標	実績	目標
令和7年度	年/40回	年/37回	年/43回	年/40回

経営基盤の確立・強化

		令和6年度		令和7年度
「みちのく村山プログラム」で自己改革の取り組みの進捗管理と事業の見直し・検討を含めた会議の開催		目標	実績	目標
令和7年度	事業の見直し・検討を含め、経営効率化に取り組む	年/10回	年/14回	年/10回
施設の有効活用に向けた管理体制の構築		目標	実績	目標
令和7年度	遊休資産の利活用・条件を整備し早期に実行	一部実施	一部実施	一部実施
内部留保の充実		目標	実績	目標
令和7年度	定款および中央会指標に基づき内部留保の充実につとめる	当期剰余金の1/5以上	当期剰余金の1/5以上	当期剰余金の1/5以上

対話・意思反映

項目	令和6年度計画	令和6年度実績	令和7年度計画
地区別座談会(各地区回数/出席人数合計)	各地区1回/180名	各地区1回/121名	各地区1回/190名
地区別総代協議会(各地区回数/出席人数合計)	各地区1回/140名	各地区1回/116名	各地区1回/150名
運営委員会(青年部・女性部・各地区実行組合長代表・生産者代表・学識経験者)	2回以上	1回	2回以上
定期訪問を通しての組合員・利用者との対話	1職員/年12回	1職員/年12回	1職員/年12回
ホームページ・広報誌等を活用した当JAに対する意見募集	年2回	年2回	年2回

旬のさくらんぼ出荷間近
高品質、情報共有で有利販売目指す

さくらんぼの本格的出荷を目前に控え、村山営農センターさくらんぼ生産部は、5月20日、22日の2日間、村山市内の各地区（樋岡・西郷・葉山・戸沢）の園地で収穫前の管理講習会を開きました。22日の葉山地区では約50人の生産者が参加し、三原勝さんの園地で実施。北村山農業技術普及課の荒澤直樹シニア

市場担当者を交え情報交換会

5月28日、JA本店で「令和7年産さくらんぼ情報交換



▲さくらんぼの管理講習会(三原さんの園地)



▲「やまがた紅王」の栽培講習会(井上さんの園地)

専門員が良品質生産に向けた管理について説明。6月上旬頃から始まる主力品種「佐藤錦」の本格出荷に向け今後の作業について確認しました。15日には、「やまがた紅王」の講習会が、西郷地区の井上敏春さんの園地で開かれ22人が参加。大玉生産に向けたポイントや防除対策など今後の栽培管理について学びました。

会が開かれ、各支部の役員と重点取引市場2社の販売担



▲さくらんぼの情報交換会であいさつする井澤部長

当者が参加。同生産部の井澤健司部長が「今後の管理を徹底し、高品質のさくらんぼ出荷をお願いする」とも、農業安全に心がけよう」とあいさつしました。

協議では、JAの担当者から、19日に実施した作況調査の結果、低温の日が続く風も強かったことで人工授粉も実施しましたが、園地にばらつきがあり、平均して「少ない」結果となったことが報告されました。販売基本方針では、「重点市場等との販売状況等の情報共有及び計画出荷による価格の維持」など3つの方針が示され、市場の担当者からは、消費地の情勢や販売方針について報告があり、活発に意見交換が行われました。

農作物の豊作安全祈願祭と盗難防止対策運動開始式

5月9日、JA本店において米や野菜、畜産関係の各生産組織の代表やJA役員ら45人が参加して「農作物豊作安全祈願祭」を開き、関係組織の代表が玉串を捧げ五穀豊穡と農作物の高値販売を祈願しました。

神事に続き三浦組合長が「近年、気象変動により栽培管理の大変さは増しているが、今年にはJAみちのく村山合併30周年の節目の年。生産者とJAが一致団結して作業の安全を第一に、納得の行く結果が得られるよう頑張っていこう」とあいさつ。生産者の願



▶豊作安全祈願祭であいさつする三浦組合長

いが込められた絵馬が、村山市河島にある「白山神社」に奉納されました。

引き続き開かれた「農作物盗難防止対策運動開始式」では、祈願祭の参加者に加え警察や行政、JA関係者など約60人が出席しました。

式では、三浦組合長が「手塩にかけた農作物を守るため農家同士の情報交換が大切。生産者、警察、行政、JAが連携して、地域一体となって盗難防止に取り組んでいこう」とあいさつし、盗難ゼロを目指し防犯意識を高めました。近藤専務が「JAみちの



▲営農センター長に自主警戒腕章を伝達



▲巡回活動に出発する関係者ら

く村山としても農家および各関係機関と連携し、農作物の盗難による被害を防止していく。丹精込めて作った農作物を守る」と宣言し、三浦組合長を本部長とする「農作物盗難防止対策本部」を設置しました。

対策本部設置にとまない、同本部長より村山・尾花沢・大石田の営農センター長に自主警戒パトロール用の腕章が伝達され、各班に分かれてさっそく巡回活動に出発しました。警察による巡回だけでは限界があり、生産者やJA、自治体、その他関係機関とも連携して盗難被害防止運動を展開していくことを確認しました。

大自然で伸び伸び 宝栄牧場で入牧式

尾花沢市の宝栄牧場で5月29日、牛の入牧式が行われました。この日放牧されたのは、当JA管内から、和牛の繁殖牛41頭。牛たちは消毒された後、健康検査、体測などを手際よく済ませ、約88畝の広大な草原に放たれました。気持ち



▶家畜車で牧場に運び込まれる牛

ちよさそうに駆け回り、25号ほどに伸びた牧草をほんでいました。入牧式では、同市の五十嵐満徳農林課長が「近年、『尾花沢生れ、尾花沢育ち』の一貫経営にも力を入れていて、繁殖牛の数は1200頭になる。今回入牧した牛については、下牧場で元気に過ごせるよう努めていこう」とあいさつしました。

牧場は、標高400mから600mの高地に位置し、夏でも牛には過ごしやすいう気候で、自然の牧草をたっぷり食べて過ごします。10月下旬の下牧する頃には、体重も大幅に増え、起伏のある草地で運動することで、足腰の強い健康な牛に育ち、農家の元に帰って行きます。

成長を観察して ~コシエルが園にすいか苗を提供~



▲コシエルのメンバーと一緒にすいか苗を観察する園児

「尾花沢すいか農業女子」COEL（コシエル）は、農業に対する関心を高めてもらおうと尾花沢市内の4つの幼稚園、保育園・こども園にプランターに植えた小玉すいかの苗を寄贈しました。

5月19日にはメンバー4人が認定こども園「尾花沢幼稚園」（千葉光也園長）を訪れ、すいか苗1本が植えられたプランター2個を持参しました。すいか苗を囲むように両端から支柱を設置。その支柱に沿って伸ばしたつるでアーチ

型にし、頂上付近ならせる空中栽培で育て、管理もコシエルのメンバーが行います。プランター前には園児53人が集まり、苗を提供した菅野友香さん(35)が「成長の過程やどんな花を咲かせるのか毎日観察して、すいか博士になってください」とあいさつしました。

すいか苗を初めて見る園児も多く「大きくなって甘いすいかになってね」と小さい苗を興味津々見守っていました。

田畑に響く子供たちの歓声

～土とふれあい農業体験～

今年も当JAでは、青年部、女性部の協力を得て、子供たちに土とのふれあいから自然や農業の大切さ、食と農のかかわりを学んでもらおうとその支援活動に取り組んでいます。田畑に広がる子供たちのいきいきとした姿を紹介します。

5/20 玉野小学校

4～6年生33人が昔ながらの「粹ころがし」を使って線をつけてから、青年部員から教わりながらヒメノモチの苗を植えました。



5/21 戸沢小学校

3年生12人が、マルチがはられた約6㎡のうね3本に青年部員から教わりながらサトイモを植えました。



5/21 大石田北小学校

5年生12人が10アールの田んぼに泥まみれになりながら、「つや姫」の苗を丁寧に植えました。



5/26 楯岡小学校

5年生87人が、青年部員から教えてもらいながら田植えを体験。村山産業高校の生徒6人も手伝いました。



▲雪室倉庫内で担当者から説明を聞く児童たち

米の貯蔵学が
大久保小児童が
雪室見学

村山市立大久保小学校の3年生10人が5月27日、地域学習の一環として、当JAの雪室施設を見学しました。JA村山営農センターの担当職員が「零温雪室倉庫」の概要を説明。始めに雪が貯蔵されている「貯雪室」を見学しました。倉庫内では室温が5℃と涼しさにびっくり。米が保管している状態を見るのも初めてで、保管されている米に触れ、冷たさを実感していました。

児童たちからは、「雪室は何度くらいか」「どんな仕事をしているのか」など多くの質問が出されました。

特産すいかPRに一役 ～JAグリーンおばなざわ協にすいか畑～

夏すいか生産量日本一の当JAは、訪れた人を実際栽培されているすいかを見てもらい、販売力アップにつなげようと展示用の畑を作りました。

5月20日にJA尾花沢営農センターの職員が、JAグリーンおばなざわの東側の緑地帯に10㎡のうねをつくり、マルチを張り10本のすいか苗を植えました。



▲すいかの苗を植えるJA職員

酒米の苗を田植え

～村山産業高校の生徒ら実習田で～

村山産業高校（坂井孝朗校長）農業経営科の生徒が5月30日、同校の実習田で酒米の田植え作業を行いました。今年で9年目で、日本酒造りで協力している東根市の酒造会社「(株)六歌仙」の松岡茂和社長も参加しました。

2、3年生14人が参加し、38㎡の実習田に同校が育成した「山酒4号」の苗を植えました。追肥や農薬散布にはドローンを活用し、管理全般は生徒たちが担います。

3年の萩生田龍介さん(17)は「無事植えることができた。これからの管理も十分に行い、品質が良くおいしい酒になる酒米を育てたい」と話しました。



▲酒米の苗を田植えする村山産業高校の生徒

さくらんぼ給食に笑顔

村山市の大久保小学校では5月14日、地元農家から提供された加温さくらんぼが給食に提供され、全校児童54人が味わいました。

大久保地区の農家で組織する「食材応援団」の協力で実施したもので、この日は、メンバーの森静子さんが早朝収穫したLサイズ以上の「佐藤錦」170粒が届けられました。真っ赤に実ったさくらんぼをランチルームで味わった児童たちは、「甘酸っぱくて美味しい」とにこにこ顔。一足早い初夏の味を楽しんでいました。



▲さくらんぼ給食を楽しむ大久保小学校の児童

順調に生育

～管内の育苗施設で水稲苗引き渡し～

当JA管内の水稲育苗施設では、4月中旬に播種作業が行われた苗が順調に生育、5月中旬から水稲苗の引き渡しが行われました。

どの施設も、ピークの時期には早朝から農家のトラックの行列ができ、従業員や職員によって次々に積み込まれました。



▲水稲苗をトラックに積み込み（村山市中央育苗センター）



「圓山大飯店」に泊まる！
2つの故宮と
台湾周遊の旅 5日間

エアー航空利用
台北 台中 高雄

■旅行期日／
令和7年11月28日(金)～
12月2日(火)
令和7年12月 4日(木)～
12月8日(月)

■旅行代金／大人お1人様(2名1室利用)
JA起点
268,000円

■旅行期日／
令和7年12月4日(木)～
12月7日(日)

■旅行代金／大人お1人様(2名1室利用)
JA起点
219,000円



日本三大美術館「大原美術館」と美しい木造アーチ橋「錦帯橋」
姫路城・原爆ドーム・厳島神社
3つの世界遺産をめぐる
山陽ハイライト 4日間

早期申込割引

令和7年7月11日(金)までにお申込をされた方は、
旅行代金から**5,000円**割引いたします。

※早期申込割引適用は、海外企画旅行 国内企画旅行に限りです。



MSCベリッシマで航く
台湾・石垣島クルーズ



ツアーのポイント

- | | MSCベリッシマ | 飛鳥II(日本最大客船) |
|-----|----------|--------------|
| トン数 | 17万トン | 5万トン |
| 全長 | 315m | 241m |
| 客室数 | 2,200室 | 436室 |
- 日本寄港史上最大のイタリア豪華客船に乗船。
 - 船内では、毎日グルメやエンターテインメントやアトラクション、スパなど全て込みのクルーズライフを満喫。(一部有料施設あり)
 - ご希望のお客様は、寄港地「石垣島」「台湾基隆」で観光もお楽しみいただけます。(別途料金)
 - 仙台空港からの航空券も含まれており添乗員も同行で安心。

■旅行出発日 **4泊5日**
令和7年11月23日(日)～27日(木)

■旅行代金／**仙台空港発着**
大人お1人様
(2名1室利用) **259,000円**

2025年日本国際博覧会と
(大阪・関西万博) **3日間の旅**
瀬戸内国際芸術祭「小豆島」へ行く



2025年日本国際博覧会
Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan
2025年4月13日(日)～10月13日(月) 大阪 夢洲(ゆめしま)
Final Sunday, 13 April to Monday, 13 October 2025 Yumeshima Island, Osaka City

©Expo 2025 APPROVAL TR 00026-16
※写真はすべてイメージです。

■旅行実施日／令和7年 **2泊3日**
【第1班】8月20日(水)～22日(金)
【第2班】8月27日(水)～29日(金)

■旅行代金／**仙台空港発着**
大人お1人様
(2名1室利用) **119,000円**

※詳細を記載したパンフレットをご準備しておりますので、お気軽にお問合せください。

JAみちのく村山旅行センター TEL.0237-55-6314 FAX.0237-55-5195

5/14 社会福祉法人
ひまわり愛育会
認定こども園
よつばこども園

園児が
サツマイモ
植えを体験

尾花沢市内の7つの幼稚園、保育園、こども園では、5月14日からサツマイモ苗の定植を行いました。園児たちは女性部員から教わりながら1本1本丁寧に植え、成長を楽しみにしていました。当JAでは今年、尾花沢市内の小学校も含め455本の苗を提供。出来秋には、給食の食材に活用する他、焼き芋などで味わう予定です。

5/16 社会福祉法人
ひまわり愛育会
ひまわり保育園

5/19 おもだか
保育園

5/19 ときわ保育園

5/20 さくら保育園

5/28 玉野保育園

5/29 認定こども園
尾花沢幼稚園

NISA口座 新規開設^{ダブル}特典

対象期間：2025年4月1日～2026年3月31日

**特典その1 NISA口座をご新規で開設された方
1,000円分プレゼント!**

※税務署から認可された方が対象となります ※QUOカードを進呈

特典その2 あなたの暮らしに+JAプレゼント

NISAをJAバンクではじめるともれなくもらえる
最大 **22,000円相当** ギフトをプレゼント

条件 | NISAの新規口座開設+指定金額以上の投信購入

<p>つみたて投信 を ご活用し、条件達成された方 特典にお申込みの方 10,000円以上のご購入で 2,000円相当 デジタルギフト プレゼント!</p>	<p>成長投資枠 を ご活用し、条件達成された方 特典にお申込みの方 100万円以上のご購入で 20,000円相当 デジタルギフト プレゼント!</p>	<p>デジタルギフト はいろんな Payに換えられます! えらべる Pay いろんなPayに換えられる amazon ポイント オンラインで簡単/ こちらからお申込み!</p>
--	--	--

詳しくは下記連絡先まで
お問合せ下さい。

登録金融機関
みちのく村山農業協同組合
東北財務局(登金)第148号

楯岡支店 Tel 0237-55-2405
尾花沢支店 Tel 0237-22-0033
信用共済部 Tel 0237-55-0910

共済のご相談は 私たちが対応いたします!

ライフアドバイザーの紹介



葉山支店 ☎56-3777

楯岡支店 ☎55-2405



大石田支店 ☎35-3132

尾花沢支店 ☎22-0033

お問い合わせは各支店ライフアドバイザーまでお気軽にどうぞ

JA共済が「安心と満足」をお届けします。

ご自身の保障が「今」と「これから」の暮らしに合っているか点検してみませんか?

わたしたちを取り巻く「将来」のリスクマップ

- お子さまの夢を実現するために準備していることはありますか?
- 理想のセカンドライフについて考えてみませんか?
- ご自身やご家族の介護について考えたことはありますか?
- 万が一のことがあった場合、準備していることはありますか?
- がん等の病気がケガ、入院・手術等の治療費や思わぬ負担への備えはできていますか?
- 三大疾病をはじめとした生活習慣病になったときの備えはできていますか?
- 身体に障害を負って働けなくなった場合に、準備していることはありますか?
- 建物のこと、家財のこと、火事はもちろん、地震や自然災害に対する備えは十分ですか?
- くるまのこと、自動車事故のリスクに対する備えは十分ですか?

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

[24062000078]

理事会だより

第2回理事会が5月26日に開催
主な議案と内容は次のとおりです。

- 第1号議案 令和6年度決算監事監査報告について
- 第2号議案 令和6年度剰余金処分について
- 第3号議案 第30回通常総代会における組合員表彰について
- 第4号議案 連結財務諸表について
- 第5号議案 運営委員の一部変更について
- 第6号議案 出資口数の減口承認について
- 第7号議案 安全衛生方針の制定および安全衛生管理体制について
- 第8号議案 組織規程の一部変更について
- 第9号議案 J Aバンク経営戦略シートの更新について

【報告事項】

- ・理事会への経過報告および行事予定について
- ・会計監査人の再任について
- ・主要勘定・安全性の指標について
- ・「マネロン等の防止にかかる対応状況」について
- ・地区別総代協議会の開催について
- ・令和7年度産米出荷契約取りまとめについて
- ・肉用牛販売実績報告について
- ・大口貸出の報告について
- ・(株)みちのくサービスの決算報告について
- ・奥羽乳業(株)の決算報告について

「未来のために ~Next Chapter(次の章へ)~」
(第十次経営管理3カ年計画スローガン)

おいしい山形で働いてみませんか!

農業就労者の減少や高齢化等で労働力不足が深刻化するなかで「無料職業紹介所」を開所しております。当紹介所では、求人・求職の申込みを受け、雇用関係の成立を斡旋いたします。

求人への受付をしております。農家で、労働力を必要とされている方は、ぜひご登録下さい。

無料職業紹介の流れ

求人・求職の申込み

紹介所の窓口を訪れるか、電話で求人・求職を申し込んで下さい。

窓口を訪れる場合は電話で日時を事前に予約して下さい。

↓ 求人情報の提供

後日、紹介所から求人のある農家が紹介されますので、農家に電話して面接日時等を確認して下さい。

↓ 農家との面接

農家から指定された日時に訪問し、作業内容や就業条件を確認して下さい。

↓ 採用通知

面接後または後日、農家から採用または不採用の連絡があります。

↓ 就 業

採用の連絡があったら、雇用契約を締結し、指定された日から雇用が始まります。

■連絡先/ 営農販売部営農企画課 ☎0237-55-6317

夏季従業員募集!

東部・西部すいか選果施設

すいか集荷作業と一緒にやってみませんか

- 募集人数/ 若干名
- 勤務地/ 東部すいか選果施設(尾花沢市)
西部すいか選果施設(大石田町)いずれか
- 就労期間/ 令和7年7月上旬頃~8月下旬まで
- 就労時間/ 午前8時~午後5時
- 時 給/ 1,100円~
- 業務内容/ すいか選果に関する業務
- 募集期間/ 令和7年6月23日(月)まで

問い合わせ先

- ・東部すいか選果施設希望/ 担当: 清野
☎0237-22-2020(尾花沢営農センター)
- ・西部すいか選果施設希望/ 担当: 小内
☎0237-35-3131(大石田営農センター)

尾花沢「すいか村」

- 募集人数/ 若干名
- 勤務地/ J Aグリーンおばなざわ 産直館「はいっと」
- 採用条件/ 高校生以上
- 就労期間/ 令和7年7月20日(日)頃~8月15日(金)頃まで
- 就労時間/ 午前8時45分~午後4時15分
- 時 給/ 1,100円
- 業務内容/ すいか販売ならびに発送業務の補助

問い合わせ先

J Aグリーンおばなざわ 産直館「はいっと」
☎0237-22-2211

道の駅尾花沢「花笠の里 ねまる」

- 募集人数/ 若干名
- 勤務地/ 道の駅尾花沢「花笠の里 ねまる」
- 採用条件/ 高校生以上
- 就労期間/ 令和7年7月20日(日)頃~8月15日(金)頃まで
- 就労時間/ 午前8時45分~午後4時15分
- 時 給/ 1,100円
- 業務内容/ すいか販売ならびに発送業務の補助等

問い合わせ先

道の駅 尾花沢「花笠の里 ねまる」
☎0237-24-3535

農林中央金庫から表彰

当JAは、2024年度JAバンク山形県表彰制度で農業融資伸長への取り組みが評価され、「農業部門」の表彰を受けました。

5月15日に、農林中央金庫山形支店の古川智久支店長が来所し、三浦組合長が表彰状を受け取りました。



▶三浦組合長と古川支店長

「野球に恋して」で戸田職員取材

テレビユー山形(TUY)の「ローカル魂『野球に恋して』」の取材で、今年3月、惺山高校を卒業してJA大石田支店金融課に勤務している戸田陽菜職員を訪れました。

惺山高校は、山形県初の高校女子硬式野球部を創部。戸田さんはその1期生で、野球部時の思い出とその経験をこれからの仕事にどう生かしていくかなどの質問に明るく誠実に答えていました。

この内容は、6月25日(水)午後7時からTUYで放送される予定です。是非ご覧ください。



▶取材を受ける戸田さん

2025 JA夏まつり

- 尾花沢地区
日時/ 7月5日(土) 午前9時~午後4時30分
場所/ 尾花沢経済事業所特設会場
- 大石田地区
日時/ 6月28日(土) 午前9時30分~午後4時30分
場所/ 大石田営農センター前広場

J Aみちのく村山コンプライアンス基本方針

前文

- J Aみちのく村山は、相互扶助の理念に基づき、農産物の供給源としての役割や金融機関としての役割など、協同組合組織として組合員や地域社会に必要とされる事業を通じて、その生活の向上や地域社会の発展に貢献するという基本的使命・社会的責任を担っています。
- J Aみちのく村山が、この基本的使命・社会的責任の実現に向けて、以下のコンプライアンス基本方針に基づき事業を展開していきます。

基本方針

- 当組合は、J Aの担う基本的使命・社会的責任を果たし、組合員や利用者の多様なニーズを応える事業を展開し社会の信頼を確立するため、当組合の役職員一人一人が高い倫理観と強い責任感を持って日常の業務を遂行する。
- 当組合は、創意と工夫を活かした質の高いサービスと組合員の目線に立った事業活動により地域社会の発展に貢献する。
- 当組合は、農業協同組合法の遵守や独占禁止法に違反する行為や違反するおそれのある行為を行わないなど、関連する法令等を厳格に遵守し社会的規範に基づき誠実かつ公正な業務運営を遂行する。
- 経営情報の積極かつ公正な開示をはじめ、広く地域社会とのコミュニケーションの充実を図るとともに透明性の高い組織風土を構築し信頼の確立を図る。
- 社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力に対しては、確固たる信念をもって排除の姿勢を堅持する。